

「事例検討研修会」中間報告について

1 報告事項

(1) 第9回事例検討研修会（平成28年7月25日開催）

ア 検討内容について

ひかりのかけ橋の事例として、今年度高校を卒業予定の知的障害児の案件を検討した。本人はミシンや絵画など創作する能力に長けているが、他害があることなどが原因で高校卒業後の居場所がなく、家族が不安を感じている。本人にはどのような過ごし方が合うのか、それに向けてどのような取り組みを行っていく必要があるのかを検討した。

イ 課題について

作業能力はあるが受け入れ可能な事業所を探すことが困難であるため、卒業後の進路については学校と相談支援事業所との早期連携が必要である。また、市内に知的障害者が過ごせるような日中の活動場所が不足していることが課題とされた。

(2) 第10回事例検討研修会（平成28年9月21日開催）

ア 検討内容について

刈谷市社会福祉協議会障害者支援事業所の事例として、一人暮らしで金銭管理が必要な身体障害者の案件を検討した。近い将来、生活が成り立たなくなる可能性があり、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用を検討するも本人には危機感が無く、他人にお金の管理を任せる意思がない。精神科病院への入院歴があり物事を全体で判断することが苦手であるため、消費者被害を未然に防ぐためにどのような支援が必要かを検討した。

イ 課題について

将来を見据えた支援者の考えとその場限りで満足してしまう本人との考え方が異なる中で、本人の意向をどこまで踏まえた上での支援を検討すべきかが課題とされた。

2 総括及び検討課題

- (1) 事例を通して支援員のスキルアップ及び情報共有が図れた。今後は、複数の事例や計画作成に関する事例も検討していく。